

令和4年度第2回日田管内地域授業改善協議会

各種学力調査等結果の分析に基づく 授業改善のポイント

【国語科】



令和4年7月12日(火)
大分県教育庁日田教育事務所

1 学力調査等の目的

2 授業改善の【要】は単元構想



1 学力調査等の目的

(1) 全国学力等調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

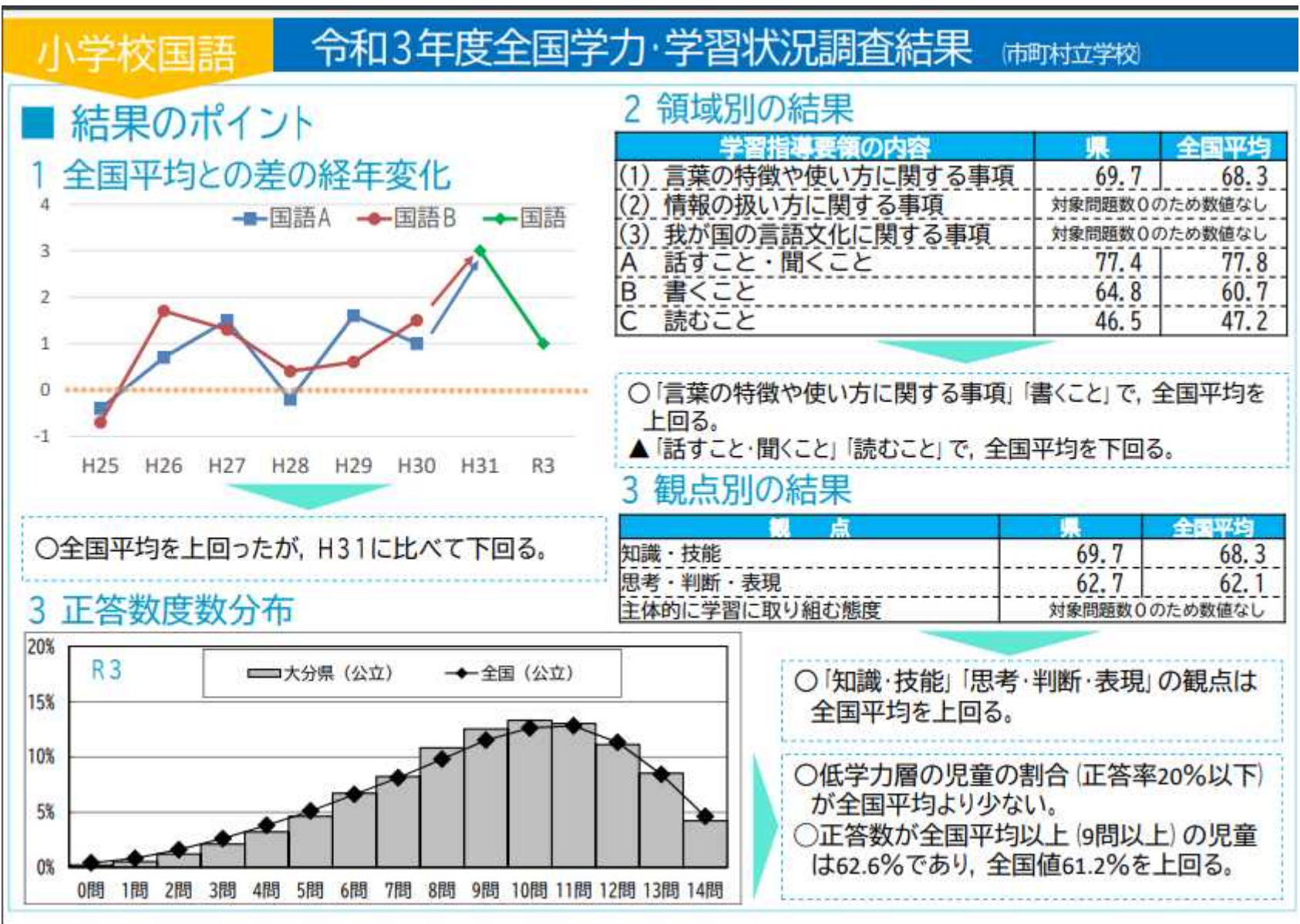
（文部科学省：「全国学力・学習状況調査の目的」）

1 学力調査等の目的

(2) 調査問題や結果等の分析の目的

- 調査の実施後、児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等を図る。
- 「解答類型」から、一人一人のつまずきを分析し、個に応じた学習指導の改善・充実を図る。

(国立教育政策研究所：「全国学力・学習状況調査解説資料」より)



小学校国語

令和3年度全国学力・学習状況調査結果 (市町村立学校)

□ 課題が見られた問題と指導の改善

1 正答率が低かった問題

大問2 設問四 [平均正答率 大分県28.9% 全国29.7%]
 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかを見る問題。

四 [資料]を読み、条件に合わせて要約する。

<条件>

- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中での使われ方について書くこと。
- [資料]から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 50字以上、70字以内にまとめて書くこと。

面ファスナー

面ファスナーとは、かさやバックなどで、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にくっつけたり、はがしたりすることができ、とても便利な道具です。

面ファスナーは、1940年代後半にスイスで発明されたもので、山に登った登山客が、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていて、ゴボウの実がくっついていて困っていたことに気がつきました。不思議に思い、その実を持ち帰って実験して、くっついていく仕組みを、ゴボウの実の油と犬の毛の油を混ぜてつくったというのでした。この仕組みは、面ファスナーの発明につながりました。

面ファスナーの仕組み

目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること (小学校第3・4学年「C読むこと」)

目的に応じて、必要な情報を見付け、まとめて書くことができるようにする。

○要約するとは、文章全体の内容を把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章内容を短くまとめることである。同じ文章でも、要約する目的によって内容の中心となる語や文は異なる場合がある。文章を要約するためには、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することが大切である。

○指導に当たっては、以下のような学習活動が考えられる。
 「目的に応じて、必要な情報を見付ける学習」
 (※ 同じ文章を活用した学習を想定)

【例1】

面ファスナーが開発されたきっかけについてまとめる。
 →きっかけとなった出来事について書かれている部分を中心に読み、「狩猟のため、愛犬をつれて山に登った」「犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていてに気がつきました」といった必要な情報を見付けて要約することが考えられる。

【例2】

面ファスナーが日本で広く知られるようになったきっかけについてまとめる。

中学校国語

令和3年度全国学力・学習状況調査結果 (市町村立学校)

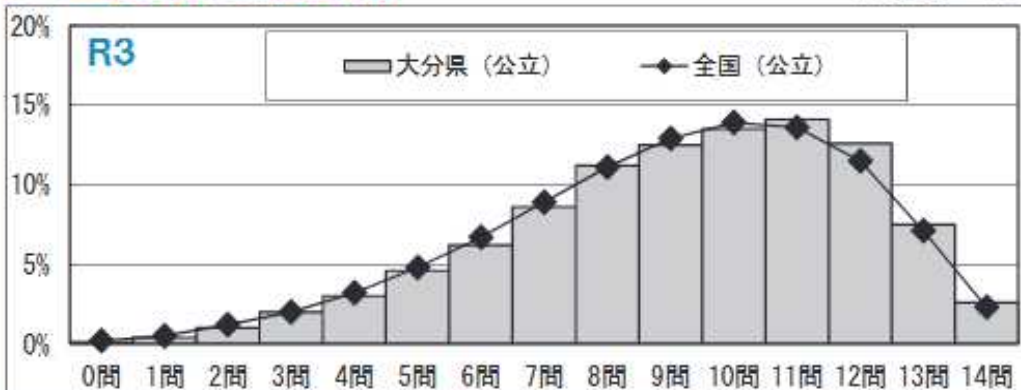
結果のポイント

1 全国平均との差の経年変化



○全国平均を上回っており、H31と同程度である。

3 正答数度数分布



2 領域別の結果

領域	県	全国平均
話すこと・聞くこと	82.1	79.8
書くこと	58.1	57.1
読むこと	49.1	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.5	75.1

- 全ての領域で、全国平均を上回る。
- ▲「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」問題の無解答率が10.8%であり、全国平均を下回る。

3 観点別の結果

領域	県	全国平均
国語への関心・意欲・態度	57.2	56.0
話す・聞く能力	82.1	79.8
書く能力	58.1	57.1
読む能力	49.1	48.5
言語についての知識・理解・技能	75.5	75.1

○全ての領域において全国平均を上回る。

- 低学力層の生徒の割合(正答率20%以下)が全国平均より少ない。
- 正答数が全国平均以上(9問以上)の生徒は62.8%であり、全国値61.3%を上回る。

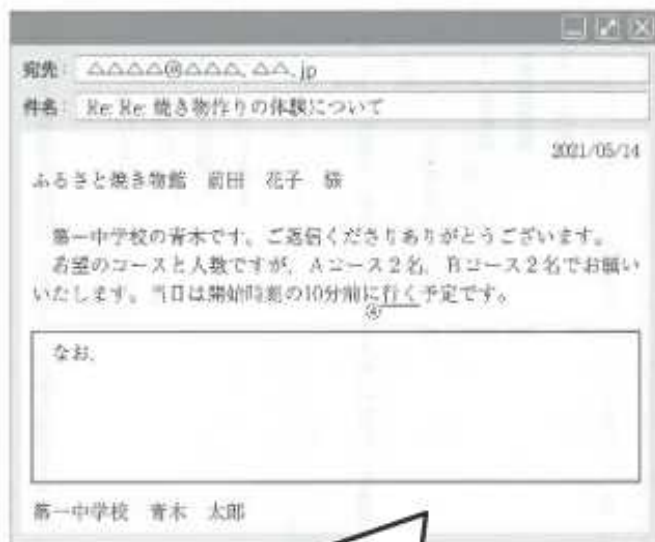
中学校国語

令和3年度全国学力

□ 課題が見られた問題と指導の改善

1 正答率が低かった問題

大問4 設問四【平均正答率 大分県71.2% 全国71.9%】
 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができるかどうかをみる。



青木さんが送信する「二回目のメールの下書き」

〈確認事項〉
 ・持ち物と服装について
 ・写真撮影の許可について

四【メールの下書き】の□の部分に、事前に確かめておきたいこととして、〈確認事項〉について書く場合、どのように書くか。相手に失礼のない表現で書くこと。

根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わるように工夫すること。

(中学校第2学年「B書くこと」)

【学習指導のポイント】

目的や意図に応じて、読み手に分かりやすく伝わるように書くことができるようにする。

○伝えたいことを読み手に分かりやすく伝えるためには、目的や意図に応じて説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりするように指導することが大切である。

○指導に当たっては、以下のような例が考えられる。

・社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなどの学習活動。その際、音声言語としての話し言葉と文字言語としての書き言葉の特徴について理解するように指導する。


・職場体験に関する問合せのメールに対して回答するメールの文章を書く。その際、相手の要望を的確に捉え、相手や目的に応じて内容や構成を工夫し、必要な情報を過不足なく書くことを意識させる。

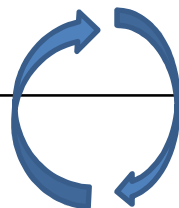
(※「平成27年度【中学校】授業アイディア例」を参照)

2 授業改善の【要】は単元構想

(1) 国語科の目標

- 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、
国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。



生きて働く 知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方 (2) 情報の扱い方 (3) 我が国の言語文化	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等	(A) 話すこと・聞くこと (B) 書くこと (C) 読むこと	
学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性等	



まとまりのある時間の中で育まれる

2 授業改善の【要】は単元構想

(2) 言葉による見方・考え方を働かせる。

- 児童生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。



- 児童生徒が学習の中で目的に応じて、何度も言い直したり、聞き直したり、書き直したり、読み直したりすることを通して、自分の言葉理解や言葉の使い方を見直し、洗練させていくこと。

単元のまとめ

2 授業改善の【要】は単元構想

(3) 言語活動

- 単元全体を通して、**学習のゴール**を生徒に意識させながら、それに向かって、**知識・技能を使って、思考・判断・表現する活動**

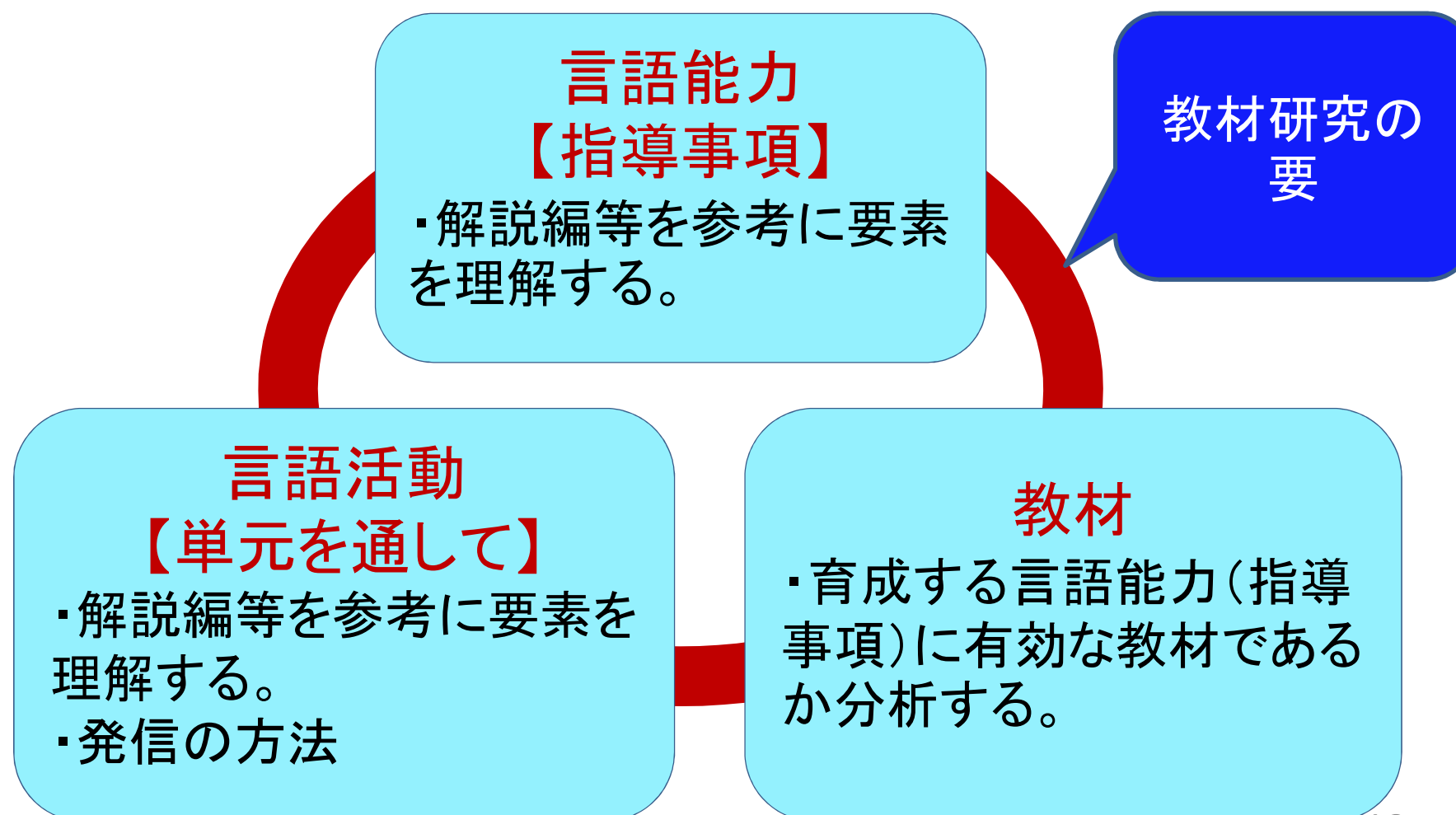


- 国語科においては、「**言語活動**」の質を高めていくことが、「**主体的・対話的で深い学び**」の実現を促すことになります。

単元のまとめ

2 授業改善の【要】は単元構想

(4) 学力調査等の結果から課題のある言語能力を把握し、単元を構想する。



2 授業改善の【要】は単元構想

(4) 学力調査等の結果から課題のある言語能力を把握し、単元を構想する。

【例】

- ・小学校第3・4学年
- ・C読むこと
- ・単元名
「すごいぞ！〇〇」

言語能力 【指導事項】

- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。
(+知識及び技能の指導事項)

教材研究の
要

言語活動 【単元を通して】

- ・学校図書館の本などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。
- ・400字程度の説明文を書く。

教材

- ・育成する言語能力(指導事項)に有効な教材であるか分析する。

2 授業改善の【要】は単元構想

(5) 単元計画を作成する。

■ 単元計画作成の手順

(『早わかり！単元計画の作成手順』を基本テキストに)

- ① 単元で取り上げる指導事項を確認する。
- ② 単元の指導目標を設定する。
- ③ 単元の評価規準を設定する。
- ④ 単元の指導と評価の計画を作成する。
- ⑤ 単元の評価計画をもとに、本時の評価規準を具体的にする。

授業者の思考の整理

『単元展開例』(R3全国学力調査大問3を活用した単元)

教科等名	国語	校種・学年	小学校・第学年
内容の まとめ	「c 読むこと」	全時数	8時間
単元名	「すごいぞ！〇〇」～〇〇のすごさを調べて説明しよう～ (教材「……」等)		
単元の目標	・全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにする。 【知・技(1)オ】 ・ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるようにする。 【思・判・表(Cウ)】 ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、思いや考えを伝え合おうとするようにする。 【学びに向かう力・人間性等】		
単元の評価規準	知識・技能	・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【知・技(1)オ】	
	思考・判断・表現	・「読むことにおいて」目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 【思・判・表(Cウ)】	
	主体的に学習に取り組む態度	・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、思いや考えを伝え合おうとしている。 【学びに向かう力・人間性等】	

学習指導要領解説編(国語)を活用することで、すぐに記入できます。

学力調査から、課題があることがわかった資質・能力

時	主な学習活動
1～2	①学習の見通しをもつ。 ②「〇〇」について書かれた文章の全文を通読し、全体構成を明らかにする。
3～4	③文章を読んで、「〇〇」が作られたきっかけについて、「説明カード」にまとめる。 ④文章を読んで「〇〇」が世界中で使われていることの例とその理由を、「説明カード」にまとめる。 ⑤文章を読んで「〇〇」のすごいと思うところを取り上げ、その理由など自分の考えをまとめる。
5	⑥友だちと互いの説明カードを読み合い、考えたことや感想を伝え合う。

【重要】
要約する必然性のある学習活動が、単元の中で繰り返し出てくる。

単元展開 例 (全5時間)

時	主な学習活動	具体的な学習活動
1 2	(1) 学習の見通しをもつ。	① 「〇〇」についてそのすごさを調べて説明することを確認する。 (説明カードを作成する。) ② 学習計画を立てる。
	(2) 「〇〇」について書かれた文章の全文を通読し、全体構成を明らかにする。	③ 「〇〇」について書かれた文章全体を読む。 ④ どの段落に、何が書かれているか、表にまとめる。 ⑤ それぞれの段落のつながりを確かめる。
3 4 5	(3) 文章を読んで、「〇〇」が作られたきっかけについて「説明カード」にまとめる。	⑥ 「〇〇」が作られたきっかけとなった出来事について書かれている部分を中心に読み、必要な情報をノートに書く。 ⑦ ⑥をもとに、「〇〇」が作られたきっかけは、」に続けて50字から70字で「説明カード」にまとめる。
	(4) 文章を読んで「〇〇」が世界中で使われていることの例とその理由を「説明カード」にまとめる。	⑧ 「〇〇」が世界中で使われていることについて書かれている部分を中心に読み、事実と理由など必要な情報をノートに書く。 ⑨ ⑧をもとに、「〇〇」は、」に続けて50字から70字で「説明カード」にまとめる。
	(5) 文章を読んで、「〇〇」のすごいと思うところを取り上げ、その理由など自分の考えを「説明カード」にまとめる。	⑩ 文章全体を読み、「〇〇」がすごいと思ったその根拠となる部分を文章中からノートに書き出す。 ⑪ ⑩をもとに、「〇〇」のすごいところは、」に続けて50字から70字で自分の考えを根拠を明らかにして「説明カード」にまとめる。
5	(6) 友だちと互いの説明カードを読み合い、考えたことや感想を伝え合う。 (7) 単元全体を振り返り、わかったことや気付いたことをまとめる。	⑫ ペアで説明カードを読み合い、考えたことや感じたことを伝え合う。 ⑬ 単元の学習を振り返り、「要約」することについてわかったことや考えたことをノートに書く。
本時の評価規準(3時)		・「〇〇」がつくられたきっかけについて、必要となる情報を文章中から見付けてそれをもとに「説明カード」に50字から70字でまとめている。【思・判・表(Cウ)】
【C努力を要する児童への手立て】	【予想されるつまづき】	【必要な支援・手立て】
	抜き出した情報から要約した文章を作れない。 漢字が読めない。	(目的に応じた)要約文例を示し、書き出しの言葉やつなぎ言葉などに着目させる。 「学習の手引き(漢字の読み)」を示す。

参考資料



【例】言葉による見方・考え方を働かせる。

領域	(2年)話すこと・聞くこと
指導事項	・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。
言語活動例	・説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などを聞いたりする活動
言語活動の具体	・小学校6年生に向けて「私の〇〇法」というテーマでプレゼンテーションする。
言葉による見方考え方を働かせる	・小学校6年生という具体的な相手（対象）を想定し、相手の行動意欲を喚起する（目的）ために、 用いる言葉の意味 がわかりやすいものであるか、 選定・表記等が適切であるか について問い直し、よりよい表現に更新していく。

【例】言葉による見方・考え方を働かせる。

領域	(2年)書くこと
指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。
言語活動例	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。
言語活動の具体	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を様々な人に報告する文章を書く。
言葉による見方考え方を働かせる	<ul style="list-style-type: none"> ・相手との関係や相手の持つ情報などを確かめたり、相手に誤解なく伝わるかどうかを確かめたりする際に、これまで使っていた言葉の意味、働き、使い方を問い直してよりよい表現に更新していく。

【例】言葉による見方・考え方を働かせる。

領域	(2年)読むこと
指導事項	・ 観点を明確にして比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること。
言語活動例	・ 詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。
言語活動の 具体	・ 『坊っちゃん』の主人公を解説する。
言葉による見 方考え方を働 かせる	・ 感性・情緒の側面から言葉の意味を捉える。 ・ 言葉の、辞書的な意味と文脈における意味との違いを捉える。 ・ 創造的・論理的思考の側面から言葉で表現する。